

エコニュース さって



第 9 号

平成 18 年 2 月 20 日

幸手市民環境会議

(幸手市環境保全課内)

TEL48-0331

(市民環境会議各グループの活動から)

エコライフDAYの参加者、5507人! (速報)

昨年 12 月 4 日に実施した「エコライフDAY」の集計を始めています。目標としていた 5000 人を上回る 5507 人にご参加いただきました。またコメント欄にもたくさんのご意見や、あふれる思いを書いていただきました。ご協力ありがとうございました。

シート一枚一枚から伝わってくる子どもたちのメッセージを読み取りながら、集計作業をしています。今回は、その一部を報告します。

参加者数 5,507 人
(本人 2,395 人 + 家族 3,112 人)

参加者内訳

- ・小学生 1,688 人 + 家族 2,762 人
- ・中学生 348 人 + 家族 305 人
- ・一般 (先生、市職員を含む)
359 人 + 家族 45 人

生徒の参加率 48%

削減二酸化炭素量 (g)

「ふだん」の取り組み

(いつもやっていること)

2,486,775g

「きょう」の取り組み

(きょうできたこと)

2,522,812g

エコライフDAYの取り組み

(増えた削減量)

36,037g

エコライフDAYの取り組み

- ・ 12月4日にやれた人が一番多かった項目
「冷蔵庫の扉はすぐ閉めた。」 (2,576人 / 82%)
「部屋を出るときは明かりを消した。」 (4,700人 / 85%)
- ・ 12月4日にやれた人が一番多かった項目
「レジ袋は、もらわなかった。」 (1,431人 / 26%)
- ・ いつもやっていなかったけれど、12月4日に出来た項目)

(小学校低学年)

「ごはんやおかずを、残さず食べた。」

(113人 / 13%)

(小学校高学年・中学校)

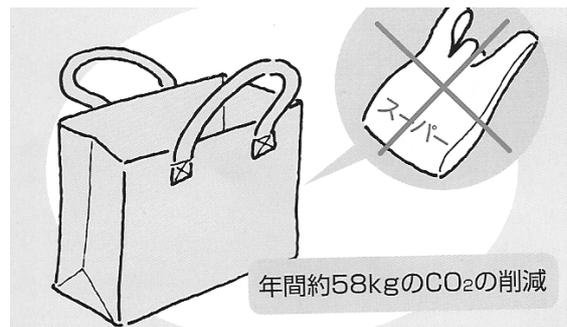
「ペットボトル入りの飲み物を、買わなかった。」

(320人 / 27%)

みんな、自分でやれることを考えてくれました。

ありがとう。

(本田)



第2回 落ち葉リサイクル腐葉土づくり

1月22日(日)、前日の大雪が心配されましたが、20名の方の参加を得て、第一段の切り替えしと第二段の腐葉土づくりを実施しました。

シートを外してびっくり！ 第一段の落葉の山は半分以下。腐敗は順調、菌糸(カビ)があちこちに見られた。その腐葉土の切り返しを行い一方に寄せ、第二段の腐葉土のためのスペースをつくる。雪のため湿って重くはなっていたが20袋ほどの落葉が集められた。



前回同様に、30センチ程の落葉の積み込みと踏込み、米ぬか、鶏糞、油粕、硫安そして水のふりかけを繰り返し、第二段の腐葉土づくりが新井先生のご指導の下に無事終了した。

特に、配慮した点は、晴天つづきのため異常に乾燥していることもあって、水が不足気味となると菌糸の発生が遅くなるため、タップリと水

を撒いたことでした。

終了後、反省会を実施し、参加者全員による感想の発表もあり有意義なコミュニケーションが図れました。市環境保全課から、「汚泥炭化肥料(試供品)」のお土産を頂き散会しました。

第2回腐葉土づくりが一般市民の参加と、権現堂川地区環境保全協議会の皆様のご協力を得ながら順調に進んでおります。次回は、3月25日(土)を予定していますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。(橋本)

汚泥炭化肥料

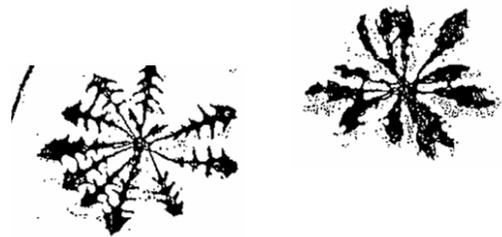
幸手市内のし尿や浄化槽汚泥から作られたもので、汚泥を500~800で蒸し焼きしたもので、高温で処理されているため衛生的で、土壌の保水性や透水性を改善します。

一般的に、し尿等の汚泥肥料には有害な物質はほとんど含まれておらず、含有成分は、窒素5.7%、リン2.7%、カリウム0.3%です。

春を待つ--ロゼット型

タンポポやオオバコ、ヒメジョオンが、葉っぱを地面にピッタリとくっつくように放射状にひろげた姿をロゼット型(ローズ・バラの花びら状の配列)と呼んでいます。植物の春を待つ知恵です。冷たい北風を避けて、根が乾くのを防いだり、根の回りの土が凍る

のを防ぐ役目をしています。そして、太陽の光を少しでも多く受け止める、冬を越すのに理想的な姿なのです。植物たちはこうして、春の準備をしています。(本田)



『もったいないばあさん』その

(真珠まりこ)

きょうも あの ばあさんが
やって きた

「もったいない こと して ないかい？」

もったいないばあさんは、杖を頼りにどこまでも歩いて行きます。「便利になったこの世の中で、なにもそんなことまでしなくても」と思うようなことが「地球温暖化」を勢いづかせます。

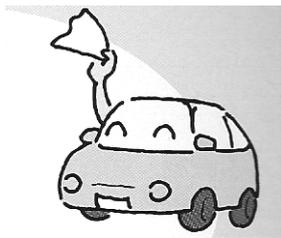
エコライフDAYでは、「自動車やバイクを使わずに、徒歩・自転車・バス・電車を利用した。」の項目をふだんから実施して



もったいなかんべばあさん

いると答えた人は全体の60%でした。この項目のCO₂削減量は、往復2kmの移動を、徒歩か自転車にした場合の計算です。ちょうど買物1回分くらいです。「クルマ中毒」も重症になると、外にでると、ためらわずに、クルマに乗るようになるそうです。皆さんはどうですか。これから、この項目をやってみようと思う人は、具体的に決めてください。

私の場合、幸手駅まで約1kmです。駅に行くときは、クルマに乗らないと決めています。そして、言い訳をつくらないことです。幸手市内は、自転車で走りやすいとは、言えませんね。(道路交通法では確か、自転車は歩道を通ってはいけない、車道も通ってはいけない。でも自転車の通るゾーンが表示されている所はほとんどありません。)でも、自転車の安全運転で自転車の行動範囲をひろげましょう。



「車を長く停車するときは、アイドリングストップした。」という項目も60%の人がふだんから実行しています。この項目は、ムダなアイドリングを合計5分間止めた場合の計算です。1回30秒なら、10回です。寒くなると暖気運転をやる人もいるでしょう。でも、最近の車は暖気運転は必要ないそうです。ただし、水温計が動くまでは、無理がかからぬように、優しく運転してください。そのほか、急発進・急加速を止める、ブレーキを多用しない、空気圧を低下しないようにチェックする、ムダな荷物を乗せないなど、「エコドライブ宣言」をしましょう。いまや、「環境に優しい運転手」を認定する制度も検討されている時代です。

家庭から排出されるCO₂のうち、自家用車による排出量が30%を占めています。トラック業界も「菜の花プロジェクト」で脱石油をめざして、菜種燃料7500KLを確保する試みを始めるとか、アルコールを使うとか、燃料を変える方法や、燃費を上げたり、CO₂排出量を減らす車の改良が進められています。一人ひとりが今日からライフスタイルを変えることが今一番求められていると思います。(本田)

家庭から排出されるCO₂のうち、自家用車による排出量が30%を占めています。トラック業界も「菜の花プロジェクト」で脱石油をめざして、菜種燃料7500KLを確保する試みを始めるとか、アルコールを使うとか、燃料を変える方法や、燃費を上げたり、CO₂排出量を減らす車の改良が進められています。一人ひとりが今日からライフスタイルを変えることが今一番求められていると思います。(本田)



けんかつNPOフェア 2006

1月21日(土) 桜保存会の川又会長が伊奈町の県民活動センターで開催された「けんかつNPOフェア 2006」にパネラーとして参加され、「NPOふれあい交流会」で、NPOとしての活動事例発表をされました。

2～3月の行事・活動

落ち葉で堆肥を作ろう

3月25日(土) 1時 - 3時

場所：ひばりヶ丘桜泉園

11月から始めた腐葉土作りの経過観察や切返しをします。できあがった肥料の使い方もこれから考えていきます。新しい参加者歓迎します。

*問合せ 市環境保全課 48-0331

.....

幸手自然愛護会 (会員 約80名)

3月18日(土) 8:00-10:00

バードウォッチング

集合場所：沼井公園観察デッキ前

案内：青柳 進氏

(鷲宮自然保護ボランティアの会)

*問合せ 横田さん 43-1373

.....

幸手地産地消研究会 (会員 40名)**ゆうあい農産物直売所**

火、木、土、日曜日 10時 - 午後1時

場所：幸手郵便局東隣

夕市(りそな銀行駐車場、第1土曜日午後5-8時)にも参加しています。

*問合せ 増田さん 42-3813

.....

権現堂川地域環境保全協議会

2月22日(木) 2時 (会員約500名)

紙漉き

4年生の子どもたちと秋に刈り取ったケナフを使って紙漉きをします。

場所：権現堂川小学校

*問合せ 上竹さん 42-3423

環境まちづくりフォーラム・埼玉

2月26日(土) 9:00 - 16:30

鴻巣市文化センター「クリアこうのす」

参加費：500円(資料代)

(午前の部)分科会：

カップ(河川環境)

メダカ(水田水辺)

フラワー(キツネ里山)

ミミズ(ごみ)

ナマズ(省エネ)

タケノコ(環境教育)

(午後の部)全体会・講演

(講師)須藤隆一(環境科学国際センター総長)

温暖化と水環境をめぐって

問い合わせ 本田さん 42-8412

彩の国**こどもエコクラブフェスティバル**

3月19日(日) 9:00 - 16:30

埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)

子どもたちが楽しみながら環境保全活動を行うのに役立つイベントです。

催物

・環境学習コーナー

(木工、リサイクル工作、廃油せっけん作り)

・子どもたちによる活動事例発表

・こどもエコクラブ壁新聞の展示

*問合せ：県環境部温暖化対策課

048-830-3033

幸手にも「こどもエコクラブ」を増やそう！私たちは支援します。

その他の活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、花いっぱい咲かせ隊、暮らしの会、上高野婦人会